

NMIJ流量計測クラブ 第18回 全体会合

2022年12月8日（木） 14:00～16:30
Web開催（Microsoft Teams）

14:00-14:15 開会の挨拶	嶋田 隆司
14:15-14:35 水素流量試験設備とJIS B 8576（水素燃料計量システム）の紹介	森岡 敏博
14:35-14:45 JIS B 7556（気体用流量計の校正及び器差試験）の改正について	森岡 敏博
14:45-15:05 ISO 5167（差圧式流量計）の改正の最新動向	古市 紀之
15:05-15:20 ISO 9300（臨界ノズルを用いた流量測定）の改訂について	竹川 尚希
15:20-15:30（休憩）	
15:30-15:45 「次世代エネルギーのための流量計測ワーキンググループ」活動報告	古市 紀之
15:45-16:00 「半導体製造ガス流量ワーキンググループ」活動報告	森岡 敏博
16:00-16:15 流量・流速関連の国際協力と国際相互承認のための活動報告 （国際計量研究連絡委員会流量標準分科会）	嶋田 隆司
16:15-16:30 意見交換・閉会の挨拶	嶋田 隆司

第18回 NMIJ流量計測クラブ全体会合

ご挨拶とご紹介

嶋田隆司 / SHIMADA Takashi

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

計量標準総合センター

工学計測標準研究部門 副研究部門長

- 流量・流速の計量標準および計測技術に関連した情報交換と技術の共有を目的として活動
- 第1回 2007年2月16日 ~ 第18回 2022年12月8日
- 15年間に18回の講演会/見学会を実施

会員制WG

次世代エネルギーのための流量計測ワーキンググループ

主査：古市 紀之

半導体製造ガス流量ワーキンググループ

主査：森岡 敏博

世界に先駆けた**社会課題の解決**と **経済成長・産業競争力の強化**に 貢献する**イノベーションの創出**

産総研の総合力を生かして国や社会の要請に対応する
世界最高水準の研究機関を目指す

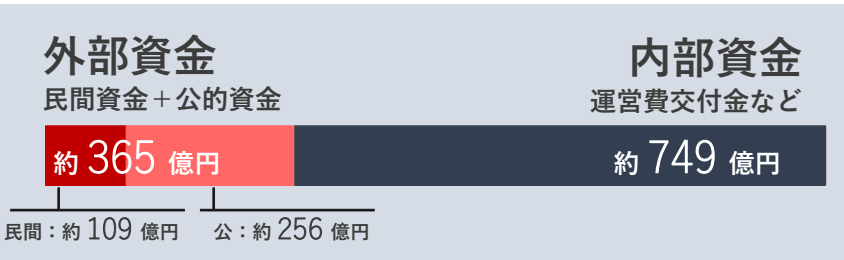
人員

約 **10,000** 名
が研究開発活動を実施

研究職員（常勤のみ）	約2,300名
事務職員	約700名
ポスドク等の契約職員	約3,100名
大学・企業等からの外来研究員等	約4,300名

予算

総収入額は
約 **1,100** 億円 (2020年度)



拠点

日本全国に
11 研究拠点

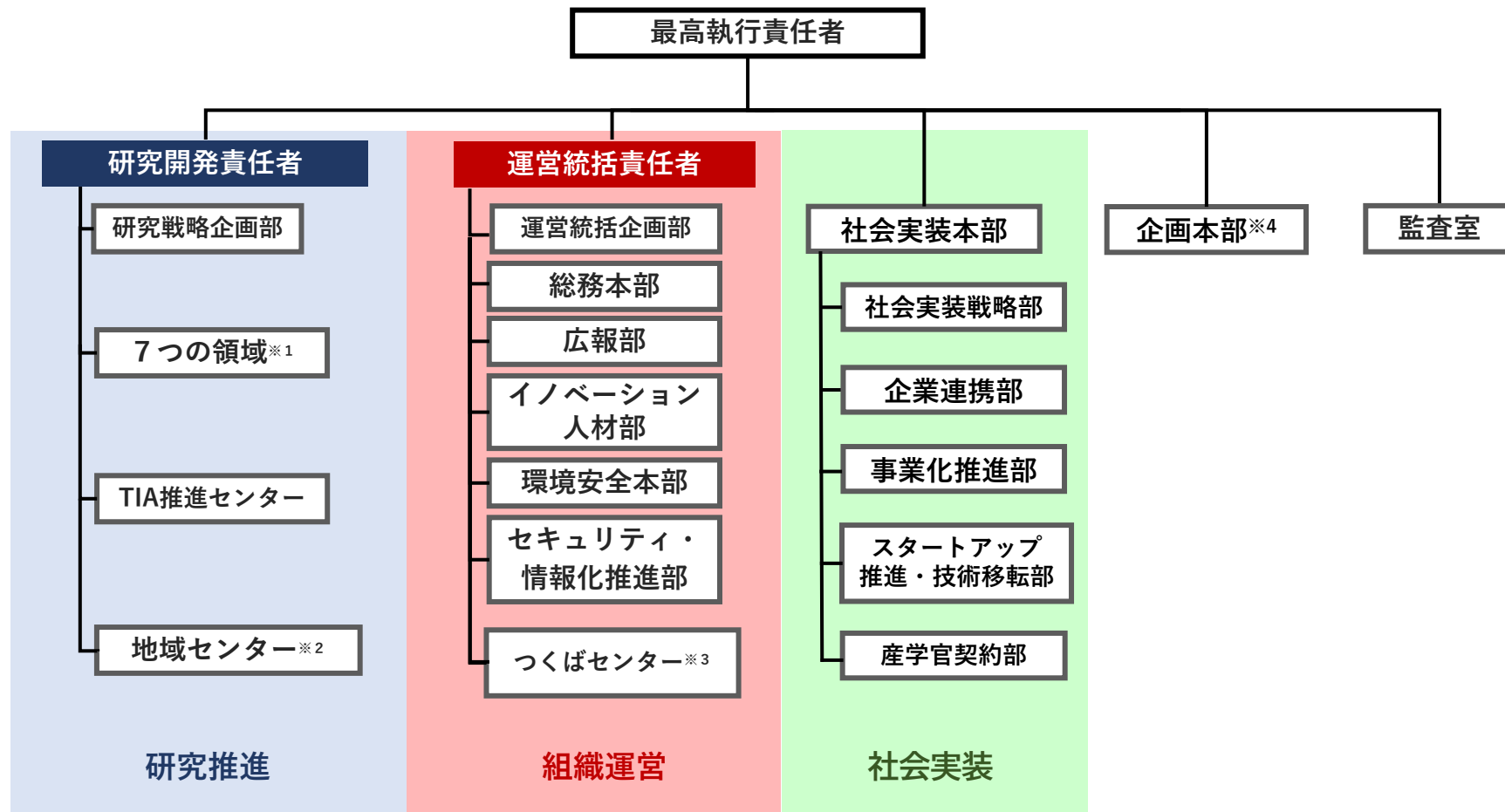
- 北海道センター
- 関西センター
- FREA（福島）
- 東北センター
- 中国センター
- 柏センター
- つくばセンター
- 四国センター
- 臨海副都心センター
- 中部センター
- 九州センター

研究領域

7 研究領域
にまたがる広範な研究体制

- エネルギー・環境領域
- 生命工学領域
- 情報・人間工学領域
- 材料・化学領域
- エレクトロニクス・製造領域
- 地質調査総合センター
- 計量標準総合センター

組織図



※1 エネルギー・環境領域、生命工学領域、情報・人間工学領域、材料・化学領域、エレクトロニクス・製造領域、地質調査総合センター、計量標準総合センター

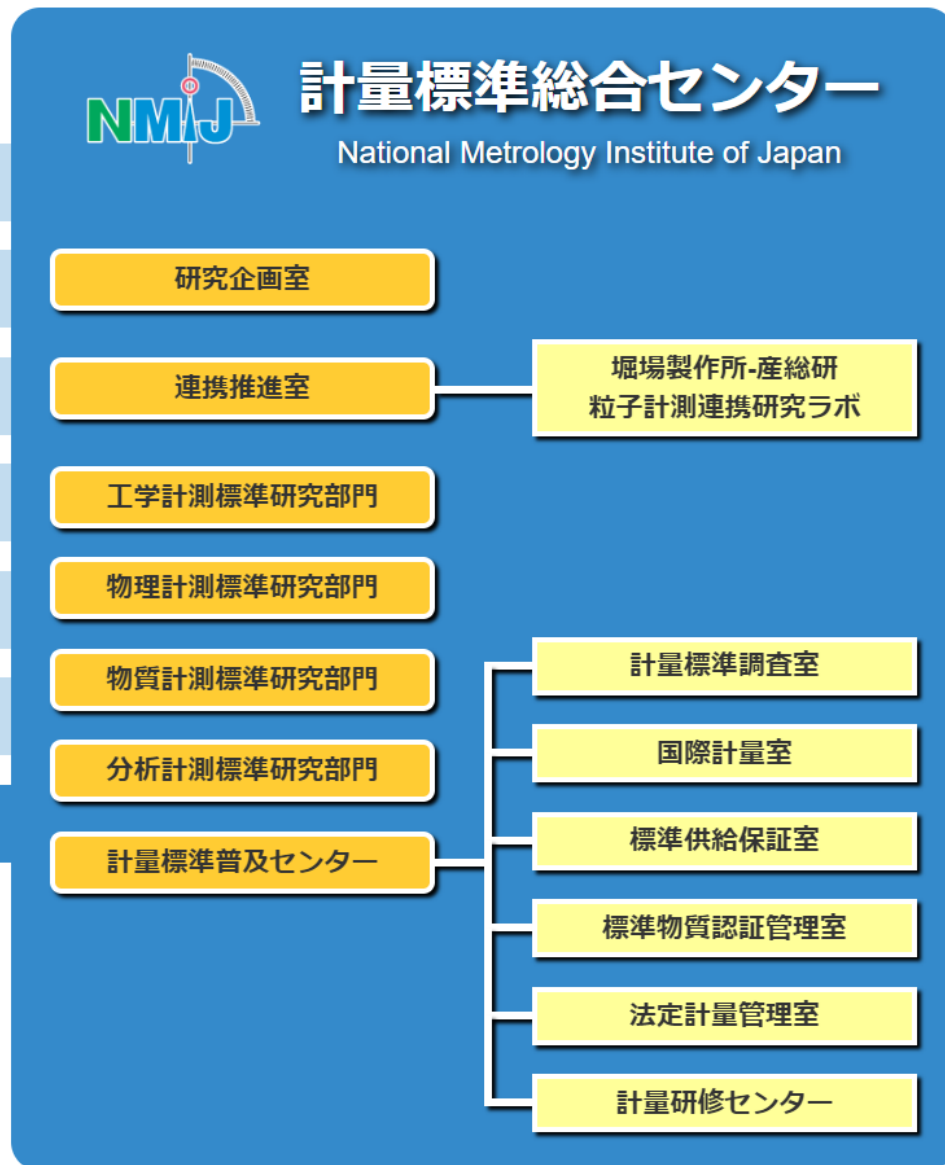
※2 北海道センター、東北センター、中部センター、関西センター、中国センター、四国センター、九州センター、福島再生可能エネルギー研究所、柏センター、臨海副都心センター

※3 つくば中央第一事業所、つくば中央第二事業所、つくば中央第三事業所、つくば中央第五事業所、つくば中央第六事業所、つくば中央第七事業所、つくば西事業所、つくば東事業所

※4 東京本部を含む



- エネルギー・環境領域
- 生命工学領域
- 情報・人間工学領域
- 材料・化学領域
- エレクトロニクス・製造領域
- 地質調査総合センター
- 計量標準総合センター



幾何学量・質量・力学量・流量などに関連する
国家計量標準の整備と普及、法定計量、計測・
評価技術の開発

工学計測標準研究部門

研究部門長
大田 明博

副研究部門長
嶋田 隆司
尾藤 洋一

総括研究主幹
根本 一
岸本 勇夫

13 グループ
人員 約100名
(研究員 約70名)

- 長さ標準研究グループ
- 幾何標準研究グループ
- 質量標準研究グループ
- カトルク標準研究グループ
- 圧力真空標準研究グループ
- 材料強度標準研究グループ
- 液体流量標準研究グループ
- 気体流量標準研究グループ
- データサイエンス研究グループ
- 型式承認技術グループ
- 計量器試験技術グループ
- 質量計試験技術グループ
- 流量計試験技術グループ

日本の国家計量標準機関として

① 国家計量標準の開発・整備・供給

- 長さ・角度・幾何形状・質量・密度・粘度・力・トルク・圧力・真空・硬さ・流量・流速・超音波

② 法定計量業務の実施

- 計量法に定められた基準器検査・型式承認の実施
- 法定計量に関する国際活動への貢献

③ 関連する計測評価技術の開発・高度化

- 社会課題の解決及び産業競争力の強化に貢献

ものづくり産業・法定計量にかかわる安全安心を
高い技術でサポートします

産総研計量標準総合センター（NMIJ）における1年間の成果を、各職員が発表いたします。成果発表会は、つくばセンターにて対面で開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンラインでの開催とさせていただきます予定です。

➤ 開催期間

2022年1月30日（月）～ 2月3日（金）

➤ 場所

2022年度 NMIJ成果発表会 特設ページ
（参加登録ページ等 準備中）

FLOMEKO (International Flow Measurement Conference)



- 第19回。前回（第18回）は2019年にリスボンで開催。
- 開催期間：2022年11月1日~3日 オンライン（中国開催）
- 次回は2024年を予定
 - IMEKO2024@ハンブルク 2024/8/26-29

- 開催日：2022年12月09日（金）
- 開催形式：オンライン
- <https://unit.aist.go.jp/rima/sirl/>



産総研

2022年度
サステナブル
インフラ研究ラボ
公開セミナー

参加費
無料

2022年12月9日金
13:00-15:50 開催形式▶オンライン

我が国では高度成長期に建設された多くの社会インフラが築半世紀を迎えつつあります。今後も急増する老朽化したインフラの維持管理には、効率的な予防保全を実現するとともに構造物に長寿命材料を適用する必要があります。このような社会課題を解決するために、産総研では「サステナブルインフラ研究ラボ」を設立し、研究開発に取り組んでいます。

第2回となる本公開セミナーでは、我が国のインフラ先端技術を牽引する京都大学 塩谷智基特定教授にご講演いただくとともに、本ラボの最新の研究開発成果と将来展開をご紹介します。

主催 国立研究開発法人産業技術総合研究所